

地元高校生に向けた 森林環境教育の実施について

嶺北森林管理署
業務グループ 田村翔太
江嶋健人

1

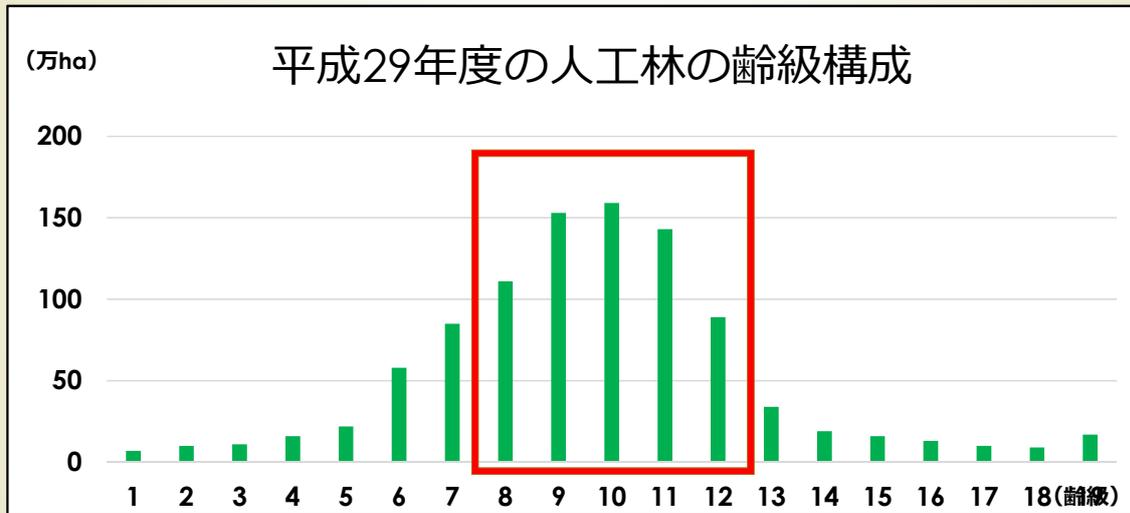
目次

1. 取り組みの背景
2. 取り組みの目的
3. 活動内容
4. 活動を振り返って
5. 今後の展望

2

取り組みの背景（林業の現状）

▶ 日本の森林は本格的な利用期にある



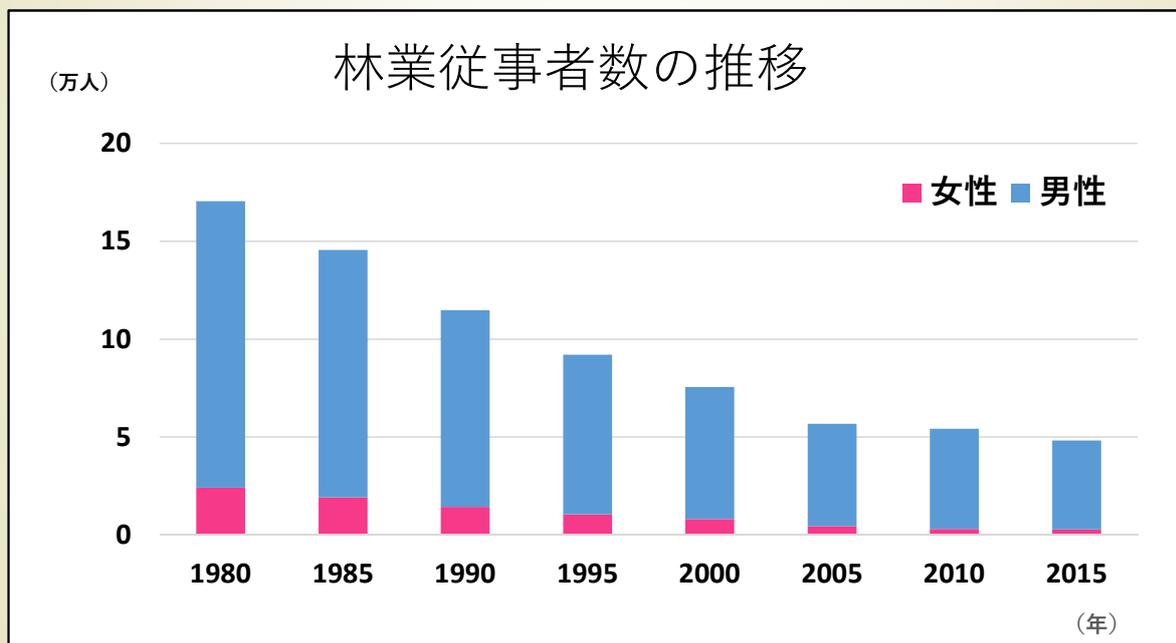
令和三年度版 森林・林業白書 参照

齢級構成の平準化が急務

3

取り組みの背景（林業の現状）

▶ 林業の従事者は減少傾向

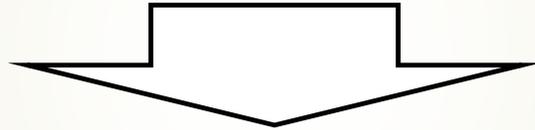


令和三年度版 森林・林業白書 参照

4

取り組みの背景（林業の現状）

- ▶ 年齢構成の平準化には就業者の増加が必須



- ▶ 「木育」を推進し、就業者の創出を図る

取り組みの目的

- ▶ 学生に焦点を当て、高知の森林を知ってもらう



地元における新規就業者の創出

活動内容

▶ 嶺北高校（実施年度：R2、R3）

2年生：基礎知識と測量

3年生：造林・保護

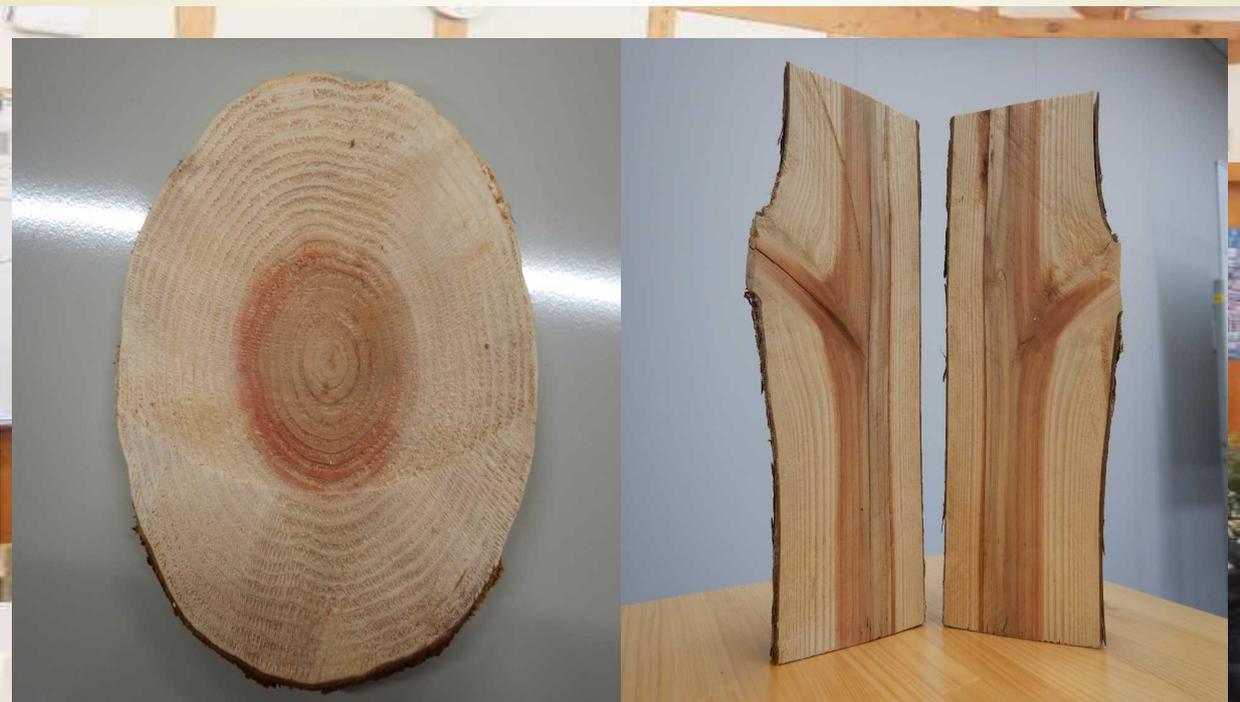
▶ 岡豊高校（実施年度：R3、R4）

1年生：基礎知識とCLT

7

嶺北高校での講義

森林・林業の基礎知識



8

嶺北高校での講義 無人航空機飛行体験



9

嶺北高校での講義 コンパス測量



10

嶺北高校での講義

造林・保護の説明



11

嶺北高校での講義

獣害対策試験地を見学



12

嶺北高校での講義

シカ・ノウサギのワナの説明



13

岡豊高校での講義

森林・林業の基礎知識



14

岡豊高校での講義

CLT



15

活動を振り返って

- ▶ 現地実習の方が意見交換などが盛んであった（特にドローン等のICT）
- ▶ 地元の高校生との交流が深まった
→ 地域に根ざした組織として浸透

16

今後の展望

嶺北高校における林業関係へ
修学・就職者は依然として少ない

平成30年	:	1人	／	25人中
令和1年	:	2人	／	20人中
令和2年	:	0人	／	15人中
令和3年	:	0人	／	36人中

嶺北高校の林業大学校・林業職への就業者数

進路 高知県立嶺北高校より参照 17

今後の展望（実施対象）

➡ これまでは2・3年生の農業コー

早期から森林の知見を習得し、
将来の選択肢の1つとして検討
してもらう

➡ 今度はコー入選択前の1年生にも
授業を実施

今後の展望（授業内容）

▶ 嶺北高校の生徒から以下の質問を受けた

- ✓ 獣害による被害状況
- ✓ 間伐を行う目的
- ✓ 現地から材を運び出す方法とその種類

林内現地での施業に関する質問

19

今後の展望（授業内容）

▶ 岡豊高校の生徒から以下の質問を受けた

- ✓ 林業の後継者不足の解決策
- ✓ 高知県で林業をするメリット
- ✓ 今後の林業が目指す具体的な目標や方向性

林業の実態に関する質問

20

今後の展望（授業内容）

学校生活では聞いたり体験することが難しい内容について質問

座学

実体験など現場の声を交えて深掘りしていく

現場体験

事業箇所の見学や、体を動かす体験を増やす

21



ご静聴ありがとうございました

写真：嶺北高校上空（生徒撮影）

22